

柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉 指摘事項に対する回答一覧表  
(重大事故等対処設備関連)

区分	No.	審査 会合日	指摘事項	回答	
審査 会合	1	H27.3.3	部位毎の評価において、時間条件付きで健全性を確認した場合はそれを明示すること	回答済 (第264回審査会合)	第264回審査会合 資料3-1 回答1
審査 会合	2	H27.3.3	200℃、2Pdの適用可能時間を過ぎてから用いる限界 圧力・温度を、考え方を含めて示すこと	回答済 (第264回審査会合)	第264回審査会合 資料3-1 回答2
審査 会合	3	H27.3.3	改良EPDMの試験条件がシビアアクシデント環境を適切に模擬できていることを説明すること	回答済 (第264回審査会合)	第264回審査会合 資料3-1 回答3
審査 会合	4	H27.3.3	エアロック扉のシール性について、原子炉格納容器の内圧による扉の変形(たわみ等)による変形支点の変位も考慮して説明すること	回答済 (第264回審査会合)	第264回審査会合 資料3-1 回答11
審査 会合	5	H27.3.3	シール材が運転中の環境(放射線量, 温度)を考慮してもSA時に問題のないことを示すこと	回答済 (第264回審査会合)	第264回審査会合 資料3-1 回答4
審査 会合	6	H27.3.3	改良EPDMの試験等が縮小モデルで行われているが、縮小モデルの試験結果を実機に適用できることを示すこと	回答済 (第264回審査会合)	第264回審査会合 資料3-1 回答5
審査 会合	7	H27.3.3	自社研のデータを採用している場合は、第三者のレビューなり、客観的な妥当性を説明すること。また、改良EPDMの圧縮永久ひずみ試験に関する文献等を示すこと	回答済 (第264回審査会合)	第264回審査会合 資料3-1 回答9
審査 会合	8	H27.3.3	200℃、2Pdによりフランジに永久変形が生じないことを示すこと	回答済 (第264回審査会合)	第264回審査会合 資料3-1 回答17
審査 会合	9	H27.3.3	格納容器の機能喪失の検出の考え方を整理して説明すること	回答済 (第264回審査会合)	第264回審査会合 資料3-1 回答19
審査 会合	10	H27.3.3	負荷がかかっている状態でオートクレーブの試験ができていているということを説明すること	回答済 (第264回審査会合)	第264回審査会合 資料3-1 回答6
審査 会合	11	H27.3.3	解析でどこまでの部分をカバーしているなど評価範囲を説明すること	回答済 (第264回審査会合)	第264回審査会合 資料3-1 回答14
審査 会合	12	H27.3.3	原子炉格納容器においてどの順でリークが始まるのかを判断するため、部位毎の余裕を評価すること。	回答済 (第264回審査会合)	第264回審査会合 資料3-1 回答18
審査 会合	13	H27.3.3	当初の設計になかったバックアップシール材を付けることによる悪影響がないか説明すること	回答済 (第264回審査会合)	第264回審査会合 資料3-1 回答7
審査 会合	14	H27.3.3	ベローズの評価において、1山あたりの吸収すべき変位量がベローズの山間ピッチを超えている場合の考え方を説明すること。	対象外	対象外 (RCCVにはベローズ構造が存在しない)
審査 会合	15	H27.3.3	バックアップシール材を塗らなかった場合の突起のシール材への押し込み深さ及びバックアップシール材を塗った場合のシール材の厚みを定量的に説明すること	回答済 (第264回審査会合)	第264回審査会合 資料3-1 回答8

 :ご説明させて頂くご指摘

 :ご説明させて頂くものの関連のご指摘

 :ご説明の対象とはしないご指摘

 :当社対象外、既にご説明済みのご指摘

区分	No.	審査 会合日	指摘事項	回答	
審査 会合	16	H27.3.3	電気配線貫通部のシール性能評価については、冷却材喪失事故時の環境試験結果と既往の電共研(S63/3)試験結果に基づくアレニウス則評価の位置付けを明確に説明すること。また、アレニウス則による評価については、有機物の活性化エネルギーを含め評価方法を説明すること。	対象外	対象外 (アレニウス則での評価ではなく、有効性評価を行っている7日間を上回る13日間の試験結果を用いて健全性をご説明している)
審査 会合	17	H27.3.3	1F事故時のPCVトップヘッドフランジのシール性に関し、圧力(実測値)と温度(解析結果)だけではなく、周辺の空間線量の変化も考慮して説明すること	回答済 (第264回審査会合)	第264回審査会合 資料3-1 回答10
審査 会合	18	H27.3.3	PEEK材の適用箇所の概略と劣化時に予想される挙動を説明すること。	本日回答	追2で説明
審査 会合	19	H27.3.3	配管貫通部の代表性について、様々な破損・変形様式を考慮しても、L/Dの厳しいものを選定することが妥当であることを説明すること	回答済 (第264回審査会合)	第264回審査会合 資料3-1 回答15
審査 会合	20	H27.3.3	エアロックに電線貫通部があるか説明すること。	回答済 (第264回審査会合)	第264回審査会合 資料3-1 回答12
審査 会合	21	H27.3.3	PCV隔離弁の評価対象弁の抽出について、適切な抽出フローを示し、説明すること	回答済 (第264回審査会合)	第264回審査会合 資料3-1 回答16
審査 会合	22	H27.3.3	黒鉛製のシール材の温度、圧力の評価を説明すること。	回答済 (第264回審査会合)	第264回審査会合 資料3-1 回答13
審査 会合	23	H27.3.3	TIPの爆破弁の構造と信頼性をどのように確認しているか説明すること。	回答済 (第264回審査会合)	第264回審査会合 資料3-1 回答20
審査 会合	24	H27.8.25	試験データについて、試験の繰り返し数等から代表性や信頼性を説明すること。	本日回答	資料1-2 No.2-1で回答
審査 会合	25	H27.8.25	フランジ開口量評価結果について構造解析と関連付けて説明すること。	本日回答	資料1-2 No.2-2で回答
審査 会合	26	H27.8.25	改良EPDMの機能維持において格納容器製作公差等による開口量への影響を説明すること。	本日回答	資料1-2 No.2-3で回答
審査 会合	27	H27.8.25	バックアップシール材の長時間負荷状態での変形特性について説明すること。	本日回答	資料1-2 No.2-4で回答
審査 会合	28	H27.8.25	配管貫通部の代表性について、L/Dとモーメントの指標算出式のL2/Dとの関係等を整理し、より適切な選定方法及び選出部位について再度説明すること。	本日回答	資料1-2 No.2-5で回答
審査 会合	29	H27.8.25	原子炉格納容器本体の評価について、NUPECの評価結果が柏崎刈羽6、7号機に適用できること及びNUPECの解析モデルが妥当であることを説明すること。	本日回答	資料1-2 No.2-6で回答
審査 会合	30	H27.9.15	SRVの機能維持を示す試験について説明すること	本日回答	資料1-4 「87. 高温環境下での逃がし安全弁の開保持機能維持について」で回答
-	追1	-	S/C構造評価において、SA時のS/C水位上昇を踏まえた水力学的動荷重の影響について	本日ご説明	資料1-2 追1でご説明
-	追2	-	均圧弁及びTIPボール弁、TIPパージ弁のシール材について	本日ご説明	資料1-2 追2でご説明

□ :ご説明させて頂く指摘

□ :ご説明させて頂くものの関連のご指摘

□ :ご説明の対象とはしないご指摘

□ :当社対象外、既にご説明済みのご指摘